

【是非この機会に世界に通用する国際標準機関公認の光測定器を御検討下さい】

## 参 考 ( I )

### オプトメーター (表示部)

下記にそれぞれのオプトメーターの主な違いをご案内いたします。

#### 1) X 9 シリーズ (オプトメーター)

オプトメーターとディテクターの組合せは **1対1** で固定されます。

例えば、他のモデル番号のディテクターや同じモデル番号でも組合せの異なるディテクターは使用できません。

これは、較正值がオプトメーターの中に1個のみしか記録できない仕様となっているからです。

- \* ハンディータイプの9VDCバッテリー駆動
- \* 平均バッテリー寿命は約100時間

#### 2) X 1 (オプトメーター)

オプトメーターとディテクターの組合せは **1対4** となり最大4個の異なるディテクターを接続することが可能です。例えば、他のモデル番号のディテクターでも、あるいは同じモデル番号のディテクターでも最大4個までの組合せ範囲で使用できます。

これは、オプトメーターの中に較正值を最大4個記録できる仕様となっているからです。

将来、多少のディテクターの増設をご計画の場合にはお勧めです。

- \* ハンディータイプの3VDCバッテリー駆動 (単三2本)、
- \* 平均バッテリー寿命は約500時間
- \* USBインターフェイス

#### 3) P-9710 (オプトメーター) 【※この製品はHPに掲載していません】

オプトメーターとディテクターの組合せは **1対メーカーのディテクター全て** となります。例えば、他のモデル番号のディテクターでも、あるいは同じモデル番号のディテクターでもこのメーカーのディテクターであれば全て接続して使用できます。

これは、ディテクターのコネクタ部分に較正值がROM化されており、オプトメーター起動時にこの較正值をローディングする方式を採用しているからです。

その他にも多機能バージョンとなっております。

- \* ハンディータイプのDCバッテリー駆動 (充電可能)
- \* 1回の充電での平均バッテリー寿命は約100時間
- \* RS232インターフェイス

#### 4) P-2000 (オプトメーター)

上記3モデルはいずれもハンドヘルドタイプでしたが、P-2000はベンチトップタイプの設計となっております。機能的には上記のオプトメーター (P-9710) とほぼ同じですが、**2ch同時接続**が可能なことや、インターフェイスもRS232あるいはIEEE488を選択することが可能なハイエンドな仕様となっております。

ベンチトップタイプのAC駆動

【是非この機会に世界に通用する国際標準機関公認の光測定器を御検討下さい】

ギガヘルツオプティック社は国際的な標準機関（DKD/PTB）から認定されたラボを持ち、光測定器の校正法人としてスタートしました。そして長年の経験とノウハウを生かし、現在では光測定器の製造販売も行っておりますが、測定器の信頼性は国際的な標準機関のお墨付きで、世界中から高い評価を得ております。

この国際的な校正機関と製造販売される測定器がどのようにトレースされているかがお分かりいただけるトレーサビリティチャートもしっかりしておりますので安心してご利用になれます。信頼の高さがここにもあります。